

「この指と一まれ！」に込めた想い

丸井グループでは、2015年から「共創経営レポート」を発行しています。5年目となる2019年のレポートでは、「この指と一まれ！」というメッセージを掲げました。丸井グループがめざすのは、ステークホルダーの重なり合う利益(しあわせ)を拡大していくことです。私たちのまわりには、小さなことから大きなことまで、さまざまな課題があります。それらの課題を、皆で一緒になって考えながら、ビジネスという仕組みで一つひとつ解決していく。そして、人も成長し、会社も成長する。丸井グループはこうした場を創っていきたいと考えています。「この指と一まれ！」というメッセージは、こうした場を共に創りましょうという強い想いが込められています。

読みどころピックアップ

知ってほしい“「しあわせ」のプラットフォーム”のこと

私たちは、すべてのステークホルダーの「しあわせ」を実現するために、新たな価値を創る「場」、すなわち「しあわせ」のプラットフォームが必要だと考えています。それは存在意義×ビジネスモデル×組織風土という3つの要素から成り立っています。

⇒P24 丸井グループの「企業価値」

「未来の種」を提示する「成約済み繰延収益」という考え方

丸井グループは、リカーリングレベニュー(継続的収入)がLTV(生涯利益)を重視した長期視点での経営にとって重要な要素であると認識しています。そしてそれを「未来の種」として見える化するための「成約済み繰延収益」という考え方を示しました。

⇒P34 収益構造の根本的転換が切り開くLTV経営

グリーン・ビジネスで「しあわせ」な未来を創りたい

温暖化による地球の破滅を回避し、将来世代に引き継ぐために、私たちはグリーン・ビジネスを始めました。TCFD提言に賛同し、2050年までの3つのシナリオ分析をもとに、気候変動のリスクと機会について財務的なアプローチを試みました。

⇒P50 GREEN BUSINESS

従業員の性格と想い、その多様性に触れる新たな試み

社外役員を含む全役員25名の性格分析を行った結果、メンバーの多様性が明らかになりました。P110の「役員一覧」の「自己執筆紹介」とあわせて、役員たちの人柄や想いをお届けします。

⇒P120 丸井グループ従業員の性格(Character)に迫る